

イスラエル・ユダヤ・中東がわかる隔月刊雑誌

# みるこす

No.185

12

2022

❖ 聖書の世界 エッセイ

ひと粒のオリーブ

池田 裕



❖ イスラエル並びにユダヤ人に関するノート

ネタニヤフ論文を読む

佐藤 優



私にとっては、一粒のオリーブの漬物に  
50年の思い出がつまっている。



ミルトスはイスラエルに育つ低木。常緑でその葉は芳香を放ち不死と成功の象徴とされた。(イザヤ 41:19)

## ■ 中東・イスラエル情報

■イスラエル並びにユダヤ人に関するノート■

ネタニヤフ論文を読む —— 佐藤 優 5

■イスラエル 多角多論■

イスラエル総選挙 —— 齋藤真言 14

■日本の非常識からみた中東の非常識■

カタールから見えるもの —— 滝川義人 22

■日本・イスラエル コラボレーションの道■

量子コンピューティングの未来 —— 新井 均 26

■特別寄稿■

良き隣人作戦 —— 徳留絹枝 32

## ● 聖書・歴史

●サムエル記講話●

逃避行の末に発見したもの —— ラビ・ベニー・ラウ 52

●一つの神と三つの宗教●

イスラーム——宗教法に縛られる社会 —— 塩尻和子 58

●目からウロコの新約聖書●

現代ギリシア語で読む新約聖書(5) —— 藤原豊樹 74

## ▲ エッセイ

▲聖書の世界 エッセイ▲

ひと粒のオリーブ —— 池田 裕 36

▲知っておきたい中東・イスラーム▲

エルアル航空 日本就航への道(上) —— 光永光翼 45

▲イスラエル御馳走帖▲

パステル —— 越出水月 68

表紙の絵:「あなたの名はもはやヤコブではなく、イスラエルだ」(ヤボク川、創 32:29)【画・藤井克之】

ユダヤのユーモア 4 教えて!ヘブライ語 50 ブックレビュー 72  
シネマレビュー 79 声のひろば 80 編集後記 82

## ネタニヤフ論文を読む

佐藤 優



〔撮影：森清〕

### 正確さに欠ける日本の報道

Z君、11月1日に投開票が行なわれたイスラエルの総選挙（定数120）で、ネタニヤフ元首相（73歳、リクード党首）らの野党陣営が過半数を確保しました。日本の報道はネタニヤフ氏が「極右勢力」を連携してパレスチナとの緊張が激化し、米国や周辺諸国との関係が悪化することを懸念するというもの

が多いです。私は、このような報道がイスラエルの政治状況を正確に反映しているとは思いません。しかし、日本の情報空間で新聞が占める位置は大きく、そこで大多数の国民の認識が形成されるので、あえて紹介します。

「ネタニヤフ氏か否か」以外の争点が見いだしにくい今回の選挙で目立ったのが、極右勢力の伸長だ。14議席を獲得するとみられて

おり、ネタニヤフ氏の「リクード」、ラピド氏の「イエシュアテイド」に続く第3勢力になることは確実だ。

極右勢力を牽引したのが、イタマル・ベングビル議員だ。ヨルダン川西岸地区の併合とパレスチナ人の「追放」を主張するなど、過激な言動で、一部から熱烈な人気を集めている。ベングビル氏は1日夜、支持者の前に姿を現

イスラエル多角多論 52

# イスラエル総選挙

——極右の台頭と左派の凋落

齋藤真言

## テルアビブでの異なる反応

11月1日、この3年半で5度目の総選挙がイスラエルで行なわれた。

同じような選挙を繰り返すという辟易感に加え、6月末に国会が解散してから4カ月経っており、今一つ盛り上がりがないに欠ける選挙戦だった。

なぜイスラエルで選挙が繰り返されているのか、すべての理由はネタニヤフ前首相にある。現在、収賄罪で起訴されて公判中のネタニヤフ氏

は、卓越した政治センスと国際政治感覚で通算15年にわたって首相の座を務めてきた。その政治手腕を評価するネタニヤフ支持派に対して、起訴された人物が国のリーダーであることに疑問を呈する反ネタニヤフ派がいて、世論は二分されている。

昨年5月のベネット・ラピッド政権樹立により、連続総選挙という負のループがようやく絶たれたように見えた。右派、左派、アラブ政党を巻き込んだ連立政権は、反ネタニヤ

フという1点で繋がっているという脆弱さを孕<sup>は</sup>んでいたが、1年余りであっけなく崩壊。今回再び民意を問う総選挙に突入したのである。

同日夜10時に投票が終了すると、メディア各社は一斉に出口調査の結果を発表。世俗的でリベラル派が多く住むテルアビブ北部界限では、2つのため息が漏れ聞こえた。1つ目のため息はネタニヤフ氏率いる右派連合で過半数獲得がほぼ確実であることに對する不安から、そして2つ目は連続して行なわれてきた総選挙がこれで一旦終止符が打たれることの安堵感から出たものである。

一方、リクード支持層の多いテルアビブ南部では正反対の反応が見られた。ネタニヤフ支持派が完全勝利を収め、右派政権の樹立が確実になったことへの歓喜の声である。

日本の非常識からみた中東の非常識

# カタールから見えるもの

——対決から戦略的パートナーへ——

滝川義人

今年後半、アラブ・イスラエル関

連で、3つの象徴的な出来事があった。第1は11月20日に開幕したサッカーワールドカップ開催地カタールにからむ件、2つ目は11月8日パレーンで開催された第4回マナマ空軍シンポジウム、3つ目が8月1日カイロで開催されたアラブ連盟の件である。

○ 国交なきカタールへの直行便

カタールと聞いて、すぐ目に浮かぶ出来事が2つある。第1は、1995年、イツハク・ラビン首相が暗殺され、その葬儀に国交もないアラブの一国カタールの政府代表が参列したこと。第2が2018年11月からガザで始まった現金ばらまき。カタール関係でまず話題になったのが、1991年のマドリッド平和

会議への参加。その2年後にヨッスイ・ベイリン外務次官が公然とカタールを訪問。カタールは95年のオスロ2（暫定自治拡大合意）の調印にも立ち会った。さらにその年にはカタールのドーハにイスラエルの連絡事務所が開設された。カタールを訪問したのはベイリンだけではない。イスラエルの外相ツイピ・リブニが訪問したのは2008年、シモン・ペレスは1996年に首相代理、2007年には副首相として2回カタールを訪問している。

カタールは、その一方でハマスなどイスラム過激派を公然と支持し、資金援助もしている。ガザ、ウェストバンク、南レバノンで何か起きるとイスラエルを非難するが、関係を切ることはない。イスラエルとパレスチナの和平を仲介する意志があるが、オール・オア・ナッシングの態

# 量子コンピューティングの未来

新井 均

## 国際会議を日本で開催

今回は、「量子コンピューティング」(量子力学の現象を利用して従来型のコンピュータでは簡単に解くことのできない複雑な計算処理をする)という最先端分野での事例を紹介したい。

今年の7月13〜14日、ウエステインホテル東京で「Q2B」(ビジネスのための量子コンピューティング)という国際会議が開催された。単なる技術開発に留まらず、ビジネスへの応

用、実用化を見据えた量子コンピューティングのソフトウエア、ハードウエアの技術開発を進めるベンダーとそれを支えるベンチャーキャピタルが集まる会議である。QC Ware というアメリカ企業を中心となって2017年から開催しており、マウンテンビューを皮切りに19年はサンノゼ、20年はコロナ禍でバーチャル開催、21年はサンタクララ、そして今年は東京にやって来たのである。業界の主要プレイヤーが集う場を

一企業が組織するあたりはいかにもシリコンバレーらしいが、アメリカ外で行なわれる最初の国が日本というのも、量子コンピューティング分野での日本の可能性を示している。IBM、D-Wave、PsiQuantum、富士通、慶応大学、東京工業大学、名古屋大学など、業界のリーダーに加え、自動車や金融などのユーザー企業、政府、投資家も参加した。その中に、イスラエルのスタートアップである Classiq Technologies (以下

▼特別寄稿▲

# 良き隣人作戦

——ゴラン高原にエヤル・デロール中佐を訪ねて

徳留絹枝

## デロール中佐との出会い

日本ではほとんど報道されることのなかった「良き隣人作戦」について紹介したい。2013年に始まった本作戦の中心人物となったのが、イスラエル国防軍（IDF）のエヤル・デロール中佐である。

デロール中佐に私が初めて会ったのは2020年2月、彼が私の住む南カリフォルニアの大学で、自ら指揮した「良き隣人作戦」について講演した時だった。私自身その数年前、シリア内戦で傷ついた子供たち

に治療を施したイスラエル北部の病院を訪ねていたが、デロール中佐との

出会いを通して、このIDF最大規模の人道支援作戦についてさらに深く学ぶ機会を得た。

その後デロール中佐とは、折に触れてメールやZoomで語り合ってきたが、今年の5月にイスラエルを訪ねた際、作戦が行なわれたゴラン高原を案内してもらった。私の友人2人（日本で若い頃空手を習ったダニー・ハキム氏と日経新聞エルサレム支局で長く働いたエリ・ガーショウィッツ氏）も同行した。

## 人道支援で始まった作戦

「良き隣人作戦」は最初から計画的に実行されたものではない。それは2013年の冬の夜、内戦で傷ついたシリア市民がゴラン高原の国境に近づいてきた時、現場付近にいたIDFの部隊が人道的見地から地域の病院に運び、治療を施したことに端を発している。

「アラブの春」と呼ばれた反政府運動は2011年、シリアにも広まった。当初アサド政権に抵抗する反乱軍がシリア南部を制圧したが、イス



# ひと粒のオリーブ

池田 裕

## ●エルサレムからのみやげ

コロナウイルスのため止まっていた日本からイスラエル向け航空便がつい最近、3年ぶりに再開したので、エルサレムの友人にイスラエルの新年の祝いのカードを送った。ユダヤ歴で今年は9月25日の日没〜27日の日没が新年であった（イスラエルの1日は日没に始まり次の日没で終わる）。船便だとイスラエルまで4カ月かかった。

日本では相変わらずコロナウイルスへの警戒が強いが、イスラエルでは対面による学会も復活していて、その首都エルサレムで考古学関連の発表を終えて戻って来たばかりだという友人が、みやげにオリーブの漬物つけもの一袋

を届けてくれた。かつて過ごした12年ものエルサレムの暮らして、毎日3度の食事のたびに食べた懐かしいオリーブの漬物。「一杯のコーヒーの中に40年の思い出がまつている」はトルコの諺であるが、私にとっては、一粒のオリーブの漬物に50年の思い出がまつている。オリーブの漬物をひと噛みすることに、あの時のこと、この時のこと、あの人のこと、この人のことが懐かしく、生き生きと思い出される。その1人が、新年のカードを送ったばかりの友人Aである。

1969年秋の新学期からヘブライ大学で学ぶことになった私は、事前に大学が留学生のために設けた夏季特別ヘブライ語講習を1カ月間受けて、所定基準をパスしなければならなかった。授業は週6日、毎日午前8時半

## エルアル航空

# 日本就航への道（上）

光永光翼

### 遂に就航、夢の直行便

今年はいスラエルと日本が国交を結んで70周年になるが、今日に至るまで日本とイスラエルを結ぶ定期直行便はなかった。両国はアジア大陸の両端に位置し、その距離は実に9000km以上。イスラエルに行くにはトランジットを含めて丸1日かかるため、日本人にとってイスラエルは遙か遠い異国の地である。だが来年3月、イス

ラエルのエルアル航空がテルアビブ―成田の直行便を就航させる。

本来ならこの直行便は2020年3月に就航する予定だった。それを祝して本連載では19年10月号から「エルアル航空物語」と題して7回にわたって掲載し、20年2月号の表紙裏には「祝・日本―イスラエル直行便就航！」の文字が踊り、読者も期待に胸を膨らませたことだろう。ところがコロナの世界的な蔓延により、就航が見送

りとなってしまったのだ。

あれから3年の時を経て、ようやく計画再開の目途がついた。遂に日本―イスラエルの直行便が飛ぶのだ。今度こそ、本当に!?

直行便では11〜12時間ほど日本とイスラエルを結ぶ。将来アラビア半島上空を飛ぶことができればさらに時間は短縮され、9時間も夢ではない。これによりイスラエルはぐっと身近な国になり、観光だけではなくビジネス目的の渡航者も増えると期待される。

### 遠い地の果てイスラエル

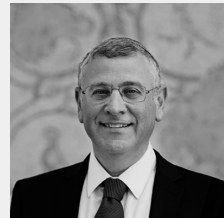
1950年代のイスラエルは、アラブ諸国との戦争が頻発する危険地域と見なされ、日本からの旅行者はほとんどいなかったが、巡礼目的のクリスチャンやキブツ（集団農場）での生活を夢見てイス

サムエル記講話

《サムエル記上21章》

逃避行の末に発見したもの ベニー・ラウ

(那須雄二訳)



הרב בני לאו

● 孤独な逃避行

20章は、ダビデとヨナタンのとて  
も辛い別れの場面で終わりました。

ダビデは地にひれ伏し、3度礼を  
した。彼らは互いに口づけし、互い  
に泣いた。ダビデのほうがいっそう  
激しく泣いた。ヨナタンはダビデに  
言った。「安んじて行きなさい。私  
とあなたの間に、私の子孫とあなた  
の子孫との間に、主が永遠におられ  
るようにと、私たち2人は主の名に  
よって誓ったのですから」

(20・41〜42)

21章は、別れのセリフが終わった  
ところから物語が始まります。

ダビデは立ち上がって行った。ヨ  
ナタンはその町に帰った。(1節)

ヨナタンは自分の家に帰り、父親  
サウルと共に王宮に残ることを選び  
ました。ダビデを執拗に追うサウル  
と共にいて、遂にはギルボア山上の  
ペリシテ人との戦いでも父サウルの  
側で共に死ぬことを選んだのです。  
後にダビデが「愛され、喜ばれたサ  
ウルとヨナタンは、生きている時

も、死においても離れることはな  
かった」(サムエル記下1・23)と哀悼の  
歌を述べたとおりです。この時点で  
ヨナタンは、ダビデを愛していたに  
もかわらず、父サウルと共にいる  
ことを決意しました。

21章からダビデの逃避行について  
書かれています。ダビデはサウルの  
王宮を離れ、遠くに逃れました。か  
つて家族に囲まれ、愛に包まれ、喜  
びに満ちて顔を輝かせ、向かうとこ  
ろ敵なしだったダビデは、すべてか  
ら切り離されたのです。今や家もな  
く、家族もいません。付き従う者も

# イスラーム

## ——宗教法に縛られる社会

塩尻和子

### ●イスラーム法（シャリーア）

#### ——月並みな道徳訓

イスラーム多数派のスンナ派では、イスラーム法は、人間の行動全般を支配する宗教法で、9世紀中頃に成立した4つの法学派（ハナフィー派、マリック派、シャーフイー派、ハンバル派）の判断を中心にして執行されている。前号で述べたとおり、

本山制度や教会組織を持たないイスラームでは、イスラーム法学者「ウラマー」の資格を規定する組織はなく、誰もがイスラーム法の指導者にも宗教法の専門家にもなれるが、その選択の判断は、多くの場合信者の側に任されている。ただし、信徒数でムスリム全体の10%程度と見られる少数派シーア派の12イマーム派では、ウラマーを養

成する教育機関が整備されていて、厳格なヒエラルキーが存在する。時折、新聞などのマスメディアでウラマーについて「イスラーム聖職者」とすることがあるが、これはシーア派にはほぼ適合するが、イスラーム世界の90%以上を占めるスンナ派には当てはまらない。

イスラームでは人間に原罪はないと考えられている。クルアーンにも原初の人間アダムとエヴァの物語が見られるが、ヘブライ語聖書の記述と最も異なる点は、樂園で彼らが犯した罪は地上に降ろされる際に許された点である。原罪思想のないイスラームでは、キリスト教のような崇高な贖罪思想は見られない。しかし人間は本来、道に迷いやすい脆弱な存在であり、神の導きがなくては、つまり神の法がなくては、地上に正当で倫理的な社会秩序を作り上げる

# パステル

## 越出月

ったのよ」と、長く働く93歳の井崎さんがいつも話してくれるが、今でも男子13歳の成人式バルミツバヤ、割礼式、映画を観る会、クラヴマガ（イスラエル発祥の近接格闘術）教室なども行なわれ、充分賑わっている。

### ❖ アリエおすすめの「パステル」

コロナ禍の前、イスラエルに遊びに行くことJCCで話したら、当時働いていたイスラエル人のアリエから「テルアビブに僕の兄弟がシェフをしているレストランがあるから是非行ってみて！」と勧められた。とにかくとても美味しい、予約しておくから行く日連絡して！と強く誘ってくれたので、着いた初日に早速向かった。

レストラン「パステル」はテルアビブ美術館の敷地内にあり、天

### ❖ 日本ユダヤ教団

私は東京にある「日本ユダヤ教団」(Jewish Community Center 通称JCC)のキッチンでも働いている。ここは日本に住むユダヤ教徒の交流の場であり、シナゴークも併設されているので、ペサハ（逾越祭）やユダヤ新年などの行事にはお祈りや儀式が行なわれ、その

後のパーティーには例年1000人超のユダヤ人会員が集う。

昔は敷地面積が今の何倍もあったそうで、従業員も大勢いて、夏は家族連れがプールに集い、プールサイドでは大人たちがお酒を飲みながらポーカールに興じていたという。

「日本が不景気になって、みんな香港やシンガポールに移住しちゃ

# 現代ギリシア語で読む

## 新約聖書(5)

藤原豊樹

### ○未来形の用法

新約聖書を読む上で、現代ギリシア語の知識は有益です。今までは単語の意味が主なテーマでしたが、最後は文法的な部分を見ていきましょう。動詞の未来形、そして条件文についてです。

現代ギリシアの日常生活で、動詞の未来形は、未来のことを指す

以外に命令法の代用として使われています。新約聖書においても、その用法は同じです。新約聖書からその用例を挙げてみましょう。ガラテヤ書6章2節です。

互に重荷を負い合いなさい。そうすれば、あなたがたはキリストの律法を全うするであらう。

(口語訳)

互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。

(新共同訳)

互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。(新改訳)

傍点は *avantiptote* ヘアナプリロセテ」という動詞の未来形の訳で、これら3つの聖書の訳がそれぞれの用法を表しています。その原形は *avantiptō* ヘアナプリロオ「一杯にする、全うする」です。口語訳はこの動詞を本来の未来形の意として「全うするであらう」と訳していますが、日本語の「〜だろう」には推量の意味も含まれてしまいます。ギリシア語の未来形は将来に実現することを表しますので、新共同訳のように

○ ギャラリー「イスラエルの風」が贈る今月の一枚 ○



「ハヌカ」エルサレム旧市街 撮影・平岡真一郎

冬にやってくるユダヤ教の祭日「ハヌカ」（今年は12月19～26日）。エルサレムの神殿が清められた故事を祝い、各家庭でハヌキヤ（9枝の燭台）を8日間灯し、2,000年前に起きた奇跡に思いを馳せる。光の祭りと呼ばれる所以である。

★手漉き和紙にプリントした、絵画のような独特な風合いをもつ作品です★

サイズ

43×34cm ⇨33,000円

制作元：ギャラリー「イスラエルの風」  
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-18-24

お問合せは  
ミルトスへ

好評の新刊

イスラエル人  
ISRAELIの  
ビジネス文化

A5判・並製 156頁 定価 1980円

オスナット・ラウトマン〔著〕  
新井均〔訳〕

次々とイノベーションを生み出すイスラエル人とはどういう人たちなのか。イスラエル人である著者がそのバックグラウンドやメンタリティーを丁寧に解説し、円滑な人間関係構築の方法を伝授する！



歌えないことりと  
いぬちの木

B5判・上製 48頁 定価 2200円

マカベアリス〔刺しゅう・文〕

刺しゅうの温もりが、ことりたちと自然の物語を優しくつむぐ、マカベアリス作、刺しゅう絵本の第2弾！ 歌えないことりはある日、ふしぎないのちの木を発見し、仲間たちに伝えようとするのだが……。《刺しゅう図案2ページ付き》



雑誌 89063-12